

第63回高校総合体育大会 県大会 剣道競技 団体個人戦

5月23日(土) 中村スポーツセンターにてインターハイ愛知県大会剣道競技団体・個人戦が行われた。
個人戦には弥富高校からは尾張を制した西村君をはじめ青木・山本・長谷川・中井さんの5名が出場し、女子個人戦で山本さんが準優勝を収めた。
また、団体戦では女子が予選リーグを突破し初のベスト8入りを果たした。

全国高校総合体育大会 東海総合体育大会 出場決定 剣道 女子個人

準優勝 山本 采

さん 高杉中 3-4

個人戦最初に試合へ挑んだのは青木君と山本さん。青木君は善戦するも延長戦で一瞬の隙をつかれ初戦敗退。一方、山本さんは、なかなか前へ出でこない相手に対し我慢の展開。試合時間は30分という剣道の試合と



してはかなり珍しい長丁場となったが集中力を切らさなかった山本さんの勝利となった。そして2年生長谷川・中井さんも山本さんに続き、見事一回戦を突破。

二回戦は中井・山本・西村君が勝利。山本さんは中学時代からのライバルに勝ち、価値ある一勝を手にした。長谷川君は新人戦の覇者に善戦するも一歩及ばず敗戦。そして尾張地区の覇者西村君はシードのため二回戦からの登場となった。西村君が登場すると高校生では珍しい上段の構えで周囲をどよめかせた。そして貫禄通り勝利し三回戦進出を決めた。

三回戦では山本さんが勝利し目標としていた東海大会出場を決めた。しかし西村・中井さんは惜しくも敗戦。ベスト16という悔しい結果となった。

弥富で唯一ベスト8に残った山本さんはここから奇跡を起こす。見事準々決勝で勝利しベスト4に残る。あと一つ勝てばインターハイ出場となるため周囲は息のみ準決勝が始まった。ここまで全ての試合で延長戦という苦しい試合展開ばかりであったが、みんなの「願い」を込めた山本さんの竹刀が一本を奪う。そして

時間内にインターハイ出場を決める二本目が入り夢の瞬間が訪れた。この瞬間、弥富高校剣道部史上初のインターハイ出場が決まった。その後の決勝戦では大舞台に慣れている相手に敗戦したものの、堂々たる愛知県準優勝という結果を手にした。

第63回高校総合体育大会 県大会 陸上競技

5月22(日)、瑞穂陸上競技場にて陸上のインターハイ愛知県大会が行われた。

本校からは男子5名女子3名が出場。陸上競技は東海大会でインターハイの出場が決まるため、6位入賞で東海大会への出場権を手にする事が次へのステップとなる。出場権を獲得したのは、五千円W優勝の木村君と五千円4位の宍倉君の2名となった。

東海総合体育大会 出場決定

男子 五千円 4位

宍倉恒哉 君 半田中 3-4

男子 五千円W 優勝

木村洋介 君 阿久比中 2-3

駅伝部から2名の選手が東海大会出場の権利を得ることが出来た。

5千円Wで優勝した木村君は、まだ競歩を始めず嫌い。3年目になるが、一番の負けず嫌いな選手。今回のレースも一歩間違えば6位以下になり、東海大会出場を逃しそうな厳しい戦いであったが、持ち前の負けず嫌い。パワーで最後はしっかり競り勝ってきた。

次は、6月21日の東海大会。自分の持ち味をしっかり活かし、次のステップであるインターハイに進むんだ!という強い気持ちを持って戦って欲しい。 駅伝競走部コーチ 山川達也



輝いてる 君

山本さんは中学校入学時にクラブ活動はテニスにしようと考えていた。しかしお父さんの一言で剣道に切り替え。これが彼女にとって剣道との出会いとなった。残念ながら中学校ではあま

り成果は出せなかった。高校生最後の大会を迎え、た直前、お母さんが病に倒れ家事もやりながらで、精神的にも肉体的にも疲れが溜まっていたという。お父さんは、娘の成長を「今回の妻の事で娘はかなり大きくなった」と語り、そして今大会、応援に来られなかったお母さんの為にビデオを片手に応援。準優勝



山本さんは全国制覇を成し遂げたお父さんの指導の元で毎日稽古に励んできた。毎日欠かさないので、毎宅後の素振り三千本。この陰の努力とお父さんと熱心に生徒指導して下さる青山先

勝の結果をお母さんにメールを「全国に連れて行きたい」との思いが、今回の結果を呼び込んだに違いない。